

平成26年度 事業報告書

コース	○自主事業コース ・ 協働市民提案コース ・ 協働行政提案コース				
事業の名称	市民の目で橋守れ「橋守」サポーター養成事業				
実施団体名	特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構				
市担当課名	市民活動推進課				
総事業費	280,818円	市の負担額	181,000円		
<p>①事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>市民が散歩や通勤あるいは地域の清掃などのついでに、15m未満の小規模な橋梁を点検し、異常を見つけた際には自治体に通報して、確認してもらう”「橋守」サポーター”を養成する講習会及び現場見学会を実施した。</p>					
<p>②事業の成果</p> <p>*平成26年度事業申込書に記載した「事業実施後の到達点」に対する成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「⑤事業実施記録」に記入してください。</p> <p>ア) 講座参加者から近所の橋梁に関心が持てたとの回答が得られることができたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート回答者の中；関心が持てた人10人/11人、どちらとも言えない人1人/11人 口頭での回答者；もともと関心がある人1名、関心が持てた人3名 <p>※結果；関心が持てた人＝93%</p> <p>イ) 参加者の意見を参考に、「簡易点検マニュアル」を改定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座の内容は、導入部に模型や写真を多用した橋の基礎知識から入って、「簡易点検マニュアル」の説明を行った。結果として25%が難しかったと答えており、改善が必要と思われる。 <p>ウ) 近くの橋で「簡易点検マニュアル」を使い実践できるか？に対するアンケート結果は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易点検を実施したい人；25%、見守りたい人；60%、無理と考える人；15% 					
<p>*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。</p> <p>なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。</p>			<table border="1" style="width: 100px; height: 40px;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 24px;">90</td> <td style="text-align: center; font-size: 18px;">点</td> </tr> </table>	90	点
90	点				
<p>③ 事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。</p> <p>ア) 講習会及び現場見学会の参加者募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日が児島の祭と重なり、わざわざ断ってきた人が3名いた。今後は、地元の人に確認するなど事前調査を入念に行って、計画を遂行したい。 応募者が少なく、工業高校の土木科の生徒や先生に参加をお願いした経緯があり、日ごろからの啓発活動が必要と考える。 <p>イ) 25%の人が難しかったと答えており、目の前で実験するなど、飽きさせない工夫が必要である。また、「簡易点検マニュアル」も簡潔にわかり易くする必要があると思う。</p>					

⑤事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施日時	実施内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数
8月～10月	「橋守」サポーター養成事業の準備 ① モデル地区の選定と現地調査 ② 橋梁点検マニュアル作成会議 ③ 現場見学会準備（草刈り等） ④ 講習会資料作成	① 児島郷内地区 ② 市民活動センター ③ 児島郷内地区 ④ NPO 事務所	専門家3名	講習会及び現場見学会参加者；15名
8月23日、24日	市民企画提案事業実施報告会 （倉敷まちづくりびと展）に参加 ① パネルを出展 まちづくりびと展への参加	アリオ倉敷1階センターコート	3名×2日	一般市民；200名
10月12日 10時半～16時	講習会及び現場見学会 ① 岡山県OB技術者の講演 ② 橋梁についての基礎知識講習 ③ 簡易点検マニュアルの説明 ④ 児島の橋梁の現場見学会（5橋） ※10/15 山陽新聞に記事が掲載された。	児島市民活動センター及び児島郷内地区	講師；1名 専門家；4名	一般市民及び工業高校関係者；15名

収支精算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)			
会費からの繰入金	40,000	99,818	
その他			
市補助金	280,000	181,000	
合計	320,000	280,818	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	30,000	20,000	現場見学会下見2名×5h、見学会1名×6h
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)			
	謝金 (講師等に支払うもの)	20,000	20,000	(公財) みんなでつくる財団おかやま代表理事講演料
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	60,000	38,513	貸切バス代(小型) = 30,240円
	消耗品費	150,000	85,744	ヘルメット20個、ジャンパー20着
	印刷製本費	50,000	25,899	インク代、コピー用紙代
	通信運搬費	3,000	280	第1種定形外郵便2通
	保険料	3,000	2,810	社会福祉協議会; ボランティア保険5名、ボランティア行事保険20名
	使用料, 賃借料	3,000	8,380	児島市民交流センター使用料
	委託料			
	小計	319,000	201,626	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費		67,000	
	食糧費	1,000	4,632	
	その他		7,560	
	小計	1,000	79,192	
合計	320,000	280,818		

(記入上の注意)

※ 予算額は申込み時に提出した様式第3号の内容を記入してください。